

## 活性化モデル商店街の成功事例

商店街：豊川地区商店街【表参道発展会、豊川商店街振興組合、豊川門前通商店街振興組合、稲美会、本町商店街振興組合】

### ●キャッチフレーズ

一大観光地として往年の賑わいの復興～豊川の顔づくり～

### ◎商店街の将来ビジョンの実績

B 1 グランプリ中日本大会及び全国大会の開催や、各商店街等が連携して実施する飲み歩きイベント等の各種活性化イベントにより地域の商業活力を向上させ、また豊川稲荷への参拝客等に魅力的な商店等を多く印象付けることにより、豊川地区の知名度の向上を図った。

正月三が日における豊川稲荷の参拝客は、年々増加傾向にあるものの（24年度 1,180千人、25年度 1,180千人、26年度 1,320千人、27年度 1,340千人）、年間を通じた商店街への賑わい創出に十分な効果が現れていない状況である。しかしながら、若手店主等が中心となって始めたまちづくり活動のイベントも平成27年に100回を超えるなど、継続的な事業として定着した。

また、やる気のある店主が自ら、豊川稲荷を使いこなす事業を立案実施するなど、新たな動きも発現している。

### ◎事業実績

○地域住民・団体・大学等との連携交流事業（24年度～26年度）

商店街ファサード整備、クーポン券事業、市場調査実験店舗設置等を実施

○外部人材活用促進事業（27年度）

商店街ファサード整備、市場調査実験店舗設置等を実施

○地域資源活用事業（24年度、25年度）

B 1 グランプリ全国大会開催に合わせて、豊川の魅力を発信

○個性・魅力の創出事業（24年度～26年度）

商店街の個店の魅力を知るための食べ歩きイベント等を実施

○地域経済活性化事業（25年度、27年度）

30万人～50万人の集客力を持つB 1 グランプリ全国大会の開催に伴い、地域経済を活性化する事業を実施

○経済産業省の採択事業（25年度）

快適な買い物空間創出のためのアーケードの改修及びアーケード活用イベント等を実施

### ◎事業の効果

- ・ B 1 グランプリ終了後（平成25年度）の歩行者通行量は増加した。平成26年度には減少したものの、平成27年度にはまた回復の兆しを見せている。
- ・ B 1 グランプリの開催や平成27年度に映画「みんなエスパーだよ！！」等のロケを始め各種メディアにも取り上げられたことが知名度の向上に繋がった。



(豊川地区商店街ファサード整備)